
シンポジウム

「エネルギー有効利用時代の視環境設計」

主催：一般社団法人 日本建築学会 環境工学委員会 光環境運営委員会 視環境評価小委員会

日時：2012年11月17日（土）13:00～16:00

会場：建築会館3階会議室（東京都港区芝5-26-20）

東日本大震災の後、節電が強く求められるようになり、多くの空間で照明が減灯・消灯されたが、極端に暗い場所が生じて歩行者の安全性に問題があるなど、視認性を十分考慮して計画された環境状態ではなかった。そこで、これまでの視環境評価小委員会で蓄積してきた視環境評価技術を紹介し、経験豊富な実務者が現状の照明設計の課題を挙げた上で、「節電時の視認性・安全の確保」と「エネルギーの有効利用」のための視環境設計の在り方についてディスカッションを行う。

<プログラム>

13:00～ 主旨説明（明石行生・福井大）

13:15～ 文字の読み易さを保証する視環境計画（秋月有紀・富山大）

13:45～ 低ルーメン（薄明視）の視環境設計（明石行生・前掲）

14:30～ 輝度画像を用いた明るさ・見やすさの可視化（中村芳樹・東工大）

15:00～ 照明設計の現状と課題（本間睦朗・日建設計）

15:30～ パネルディスカッション

参加費：会員 2,500 円，会員外 3,000 円，学生 1,500 円（資料代を含む，当日会場でお支払いください）

定員：シンポジウム 35 名（申し込み先着順）

申込方法：(1)Web 申し込み <http://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=289> よりお申し込みください

(2)E-mail による申し込み 催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、同電話番号を明記し、E-mailにてお申し込み下さい

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail : ichinose@aij.or.jp